

岸和田の宝永地震

山中吾朗

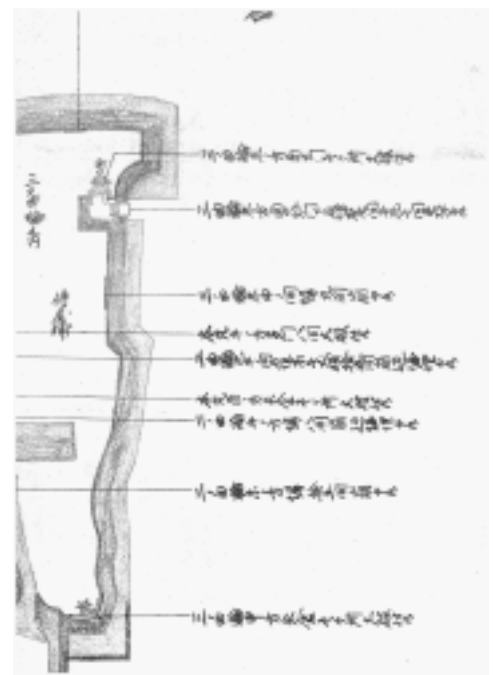
今年 3 月 11 日に起きた東日本大震災は、皆さんご存知の通り地震による直接的被害のみならず、津波と福島原発事故とによって、日本史上でも未曾有の大災害となりました。震災以後、岸和田では昔の大地震の際に津波被害はなかったのか、と尋ねられることが多く、現在、岸和田での災害関係史料をまとめる作業を行っています。そこで今回は宝永 4（1707）年の大地震による被害を記した史料をご紹介します。

宝永 4 年 10 月 4 日に起きた M8 級の巨大地震は、東海・東南海・南海地震が連動してほぼ同時に発生したと推定され、今年の東日本大震災までは史上最大規模の大地震といわれていました。また本震の数日後には富士山が噴火し、宝永山が形成されました。この宝永地震は、岸和田地域にも多大な被害を与えたと推定されますが、被害の具体的状況を窺わせる史料は今までのところ 2 点確認できました。

一つは熊取谷の庄屋中盛彬（もりしげ）が書いた随筆『かりそめのひとりごと』です。『かりそめのひとりごと』は宝永地震の 100 年余りに書かれたものですが、盛彬の祖父が体験したことを父から聞いた話しとして次のように記しています。

宝永 4 年 10 月 4 日未の刻（午後 2 時頃）、半時ばかり地震した。祖父はその時岸和田にいて、これは大変だと思い急いで熊取谷に帰ろうとしたが、池の堤が崩れ男女が東西に逃げ惑っていた。王子川の水かさが増して人足に助けられてようやく渡り、熊取谷まで帰った。岸和田では大手門の前まで汐があがり、手水鉢や唐臼には「かしい」や「こち」が泳いでいたという。

ここにみえる王子川の水かさが増えたことや、岸和田城大手門前まで汐があがってきたことは、津波による現象と



図：宝永 4 年 岸和田城絵図写(部分)

思われます。盛彬は上の記事に続いて岸和田藩領内の被害状況を藩の役人が書きとめた文書を写しています。被害状況は、家屋破損 3075 軒（内、岸和田町人分 171 軒）、寺社破損 56 箇所、死人 5 人、けが人 1 人、堤防損壊の池 77 箇所、田地破損（汐入り・崩壊・水没）7 町余となっています。家屋被害の多さに比べて死傷者数は意外に少なく、どの程度正確な数値かやや疑問ですが、とにかく藩領内で多大な被害があったことは窺えます。

宝永地震による被害を伝えるもう一つの史料は、宝永 4 年 12 月の岸和田城絵図の写しです。これは 10 月 4 日の大地震による岸和田城の破損箇所を絵図に示し、岸和田藩が岸和田城修復の許可を求めるために幕府へ提出したものです。本丸・二の丸・三の丸の石垣・櫓・門・塀など 31 箇所が崩れ又は破損し、天守閣の四方の壁と瓦も破損しました。宝永地震によって岸和田城も多大な被害を受けたことがわかります。

このように、わずかな史料ではありますが、宝永地震による被害の甚大さは窺えるでしょう。震災報道によれば、東北地方のある被災地では、かつての津波被害の経験から、これより下に家を建ててはならないと記した古い石標が建てられているそうです。現代の私たちが歴史から学ぶべきことは多くあります。今後も他市に伝わる史料も含めて、災害関係史料を博搜して皆さんにご紹介してゆきたいと思います。

（やまなかごろう：郷土史担当長）

魚類標本の収集活動

花崎勝司

筆者は以前、本誌で「魚類標本作成」というタイトルでその作成方法について解説しました。今回は魚類標本の収集方法について紹介します。

もっとも一般的な方法が、河川や海岸でのタモ網や投網などによる自家採集（以下、採集）です（図 1）。しかし、網類を十二分に活用できない山間の溪流に生息するアマゴや、海の沿岸を群泳するアジ・イワシ類などでは釣りによる方法が有効になります。採集は標本個体を得られるだけでなく、同時にその魚種がどのような環境に生息していたのかを知ることができます。ただし、河川や海岸には場所によっては「漁業権漁場」として漁業協同組合（以下、漁協）によって管理されているところもあります。このような場所で採集を行うに当たっては、事前にその漁協に問い合わせるなどして採集の可否を確認することが必要になります。



図 1：海岸での投網採集。

次に漁港や魚市場に出向いて収集するという方法です。このような場所では時間帯によって漁業者が、網やカゴ



図 2: 底曳網の漁獲物。



図 3: スーパーで購入したシシャモ。

の中の漁獲物から市場のセリに出すものと出さないもの（后者は廃棄されることが多い）を選別していることがあります（図 2）。廃棄される魚類の場合、標本収集している旨を伝え、快く提供してくれる方々も少なくありません。河川魚類の場合、前記した採集という方法でしか収集できない魚種も多いのですが、海産魚の場合、我々が採集可能な魚種は海岸付近に生息するものに限られています。したがって、沖合や水深数十 m もの海底に生息するような魚種などでは、漁業者の協力を得ることが標本収集にとって重要なポイントになります。

最後に、頻繁ではないもののスーパーマーケット（以下、スーパー）や鮮魚店などで購入することもあります。ここではもちろん整然と陳列された状態の魚類と対面するわけです。これまでに購入、標本作成、撮影、登録、そして保管した印象深いものに「北海道産のシシャモ（図 3）」と「九州・唐津のシロウオ」があります。前者はなかなか生鮮状態でお目にかかれる機会がないものであり、後者は酸素パック詰めを生体で販売されていたものですから、水槽での生体撮影も行いました。標本台帳の収集場所には「大阪府大阪市××区の○○スーパー（北海道産と明記）」、収集方法の項目には「581 円にて購入」と記入。値札なども切り取って保管する、もしくは撮影しておきます。スーパーでの購入標本といえども、データは必要不可欠なものです。

（はなざきかつじ：自然資料館アドバイザー）

Information

■岸和田城の展示案内■

企画展 「岸和田モダンタイム—大正～昭和戦前期の諸相—」

岸和田を舞台とする NHK 朝の連続ドラマ“カーネーション”が放映されることに伴い、ドラマ序盤の舞台となる大正期から昭和戦前期までの岸和田の様子を古写真や関連資料によって紹介します。

- ・期間：9 月 7 日(水)～平成 24 年 3 月 11 日(日)
- ・時間：午前 10 時～午後 5 時（入場は 4 時まで）
- ・入場料：大人 300 円 中学生以下無料
- ・休場日：月曜日(祝祭日を除く)・年末年始

・主な展示資料：「寺田甚与茂肖像画」「小川翠村筆 岸和田八景」「岸城町隣組の湯呑」

ほか 計約 40 点

■きしわだ自然資料館からのお知らせ■

自然資料館 2 階常設展示がリニューアルします

今年冬、自然資料館 2 階常設展示が一部リニューアルします。大地のなりたちコーナーと、チリメンモンスターコーナーが充実し、より楽しみながら学べる展示になります。詳細は、次号にて紹介します。学校の授業などでぜひ、自然資料館をご利用ください。

■きしわだ自然資料館の行事案内■

ため池をめぐる土曜講座 10 月号

あまり生き物がいないように思える岸和田城周辺ですが、ここでもいろいろなものが観察できます。

- ・日時：10 月 15 日（土）
午前 10 時 30 分～午前 12 時（雨天中止）
- ・場所：岸和田城周辺（自然資料館に 10:30 集合）
- ・対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）
- ・講師：自然資料館スタッフ
- ・費用：ひとり 50 円（傷害保険料）
- ・持ち物：筆記用具・あればルーペや図鑑・双眼鏡など
- ・定員：30 名（当日受付）

第 10 回 魚庭（なにわ）の海づくり大会

大阪の漁業関係者や大阪湾に関する活動を行っている団体による、海のお祭りです。大阪産の美味しい魚介類や農産物の即売や稚魚放流体験、クイズラリーなどのイベントが目白押し。自然資料館は、チリメンモンスター体験を担当する予定です。

- ・日時：10 月 23 日（日）午前 10 時～午後 3 時
- ・場所：大阪南港 A T C 海辺のステージ（大阪市営ニュートラム「トレードセンター前」駅すぐ）
- ・入場料：無料

泉南の大地のおいたちを探る観察会

泉南地域には、地層を観察できる場所がたくさんあります。今回は、貝塚市の水間・秋山周辺を歩きながら、泉南の大地のおいたちについて学びましょう。

- ・日時：10 月 30 日（日）午前 10 時 30 分～午後 4 時
- ・場所：貝塚市水間・秋山周辺（約 3km 歩きます）

- ・講師：濱塚博（当館アドバイザー）
- ・定員：小学生以上 30 名（小学生は保護者同伴で）
- ・申込方法：10 月 1 日～17 日までに、往復葉書か電子メール（携帯電話から不可）で、保護者を含む参加者全員の〒住所・氏名・年齢か学年・電話番号を記入し、自然資料館「巡検」係まで

第 12 回・こどものためのジオカーニバル

地球と宇宙のことをもっと知りたい人のための地学の祭典「こどものためのジオカーニバル」が、今年も大阪市立科学館（大阪市）で開催されます。

きしわだ自然資料館と友の会は、「ようこそ不思議な石の世界へ～ホタル石でつくるオリジナル宝石～」

「水晶を調べよう」で参加します。
ほかにも、大阪府内の学校の先生方による天文や地質についてのいろいろなブース出展やセミナーが多数ありますので、ぜひお越しください。

- ・日時：11 月 5 日（土）6 日（日）
午前 10 時～午後 4 時
- ・場所：大阪市立科学館（大阪市営地下鉄四つ橋線肥後橋駅より徒歩 5 分）
- ・入場料：無料・ただし大阪市立科学館の展示やプラネタリウムなどの見学には入館料が必要です。
- ・おもな出展内容：蜃気楼の不思議・紙で作る飛ぶ翼竜・産まれる恐竜づくり・小惑星探査機「はやぶさ」をつくってみよう・展示「東日本大震災」など

※お願い [fromM]は、学校教職員に1部ずつお配りください。

担当の方はお忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくお願い申し上げます。

【from M】では、みなさまからのご意見、ご感想、ご質問等をお待ちしています。博物館での学習、研究等に関する情報、地域の自然環境や歴史に関する面白いトピックスなどがありましたら、ぜひご投稿ください。お名前、連絡先、所属等をご記入の上、右記の宛先までお送りください。電子メールでも受け付けています。

連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町 6-5 きしわだ自然資料館
TEL: (072) 423- 8100 FAX : (072) 423- 8101
Email: sizen@city.kishiwada.osaka.jp
自然資料館ホームページ URL:
<http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/>
(Yahoo Japan の検索で「きしわだ」と入力し、検索すれば、簡単です)